教職員のみ

学校番号	108

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語標準演習	2	3	Wonderland 3rd edition 3

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々なテーマの英文を読み、長文読解の力を養うだけなく、リスニングや文法問題など総合的な問題演習を重ねることによって、受験に対応できる英語の力を身につけてもらいたいと思っています。この授業で学んだことを足掛かりにして、自分で自学自習をする習慣を早期につけて、積極的に学んでいってください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・多様な話や専門的な話について自然な速さで話されるニュースを聞き、視覚的な情報をヒントに事実関係を把握することができる。 ・自然な速さで話される会話の一連の流れを理解することができる。	・評論、エッセイから必要な情報や論点を読み取り、その書き手の意図や目的を的確に理解することができる。 ・現代社会における問題など関心の高いトピックを扱った文章を読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	・身近なトピックに関して、自分の意見を理由や根拠とともに表明し、円滑に会話を進めることができる。 ・なじみのある話題であれば、新聞で読んだりテレビで見たニュースの内容について議論することができる。	・短い読み物や新聞記事の内容について、自分の意志や考えを加えながら、あらすじや要点を伝えることができる。 ・興味や関心のある話題について、自分の意見を発表するとともに、聴衆からの質問にこたえることができる。	・学校や地域など、関わりのある環境について使い慣れた語句や表現を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで描写することができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深め、知識として身に着けている。	様々なジャンルの英語を読みながら、情報や考えの概要や要点を理解し、それに基づき、適切な言語の使い方で、要約したり、自分の考えを他者に伝えることができるようになっている。	英語を用いて他者や社会と積極的に関わっていこうとする主体的な態度を身に着けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

教職員のみ

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unit1 Unit2 Unit3	聞くこと	a: イラストを見ながら音声を聞き、解答をしぼっていく。 b: 位置を表す表現に注意して音声を聞き取る。 c: 曜日ごとの天気の変化に注意して音声を聞き取る。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 代名詞で言い換えた部分を、しっかり把握して英文を読む。 b: 各段落のキーワードからトピックを読み取ることができる。 c: グラフや表のデータから具体的な数値や割合を読み取る。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 時をあらわす副詞節を使って、短い文章を話すことができる。 b: 未来完了形（継続）を使って、短い文章を話すことができる。 c: 過去の習慣をあらわす表現をつかって、英文を発表する。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 主語と時制に応じて動詞の形を考えることができる。 b: 時を表す語句や従属節の時制に注意して文章を構成できる。 c: 助動詞を使って、文章を作成することができる。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Unit4 Unit5 Unit6	聞くこと	a: 会話の流れをつかみながら、選択肢の中から解答を選ぶ。 b: 英会話での応答からどのような場面での会話かを考える。 c: 少し長い英会話を聞いて、大事な部分の意味をつかみとる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 「時」を示す語句に着目して情報を整理する。 b: 登場人物の心情に着目する。 c: 大きなカテゴリーから具体的な説明へ展開する説明文を理解する。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 形式主語を使って、英文を話すことができる。 b: 使役動詞 have を使った英文を話すことができる。 c: SVOO の英文を受動態にして話すことができる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 受動態の様々な表現を理解し、英文を作成することができる。 b: 使役動詞を使いわけて文章を構成できる。 c: 不定詞、動名詞の慣用表現を使って、英文を作成する。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2	Unit7 Unit8 Unit9	聞くこと	a: 留守番電話のメッセージを聞き取ることができる。 b: 英文での説明を聞いて、グラフを読み取って解答できる。 c :会話文を聞くときに、先に設問と選択肢に目を通して読む。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 段落ごとに論旨を整理して読むことができる。 b: ある物について説明する文章を理解し読み解くことができる。 c: 前述の内容を簡潔に言い換える表現を理解することができる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 使役動詞 O 過去分詞を使って英文を話すことができる。 b: 分詞構文を使って英文を話すことができる。 c: 関係代名詞 whose を用いて英文を話すことができる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 関係代名詞について、限定用法等を用いて英文を作成する。 b: 分詞構文を用いて英文を作成する。 c: 現在分詞、過去分詞を使って、英文を作成する。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Unit10 Unit11 Unit12	聞くこと	a: 時間・場所・そこで何をするかに注意して英文を聞きとる。 b: 先に日本語の内容に目を通し、まとまった量の英文を聞き取る。 c:　長い英文の中から細かい数値を聞き取ることができる。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 英文ならではの表現を理解することができる。 b: and や or などによってつながれた語句を正確に把握する。 c: 主語と動詞を明確にしながら速読にチャレンジする。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 関係代名詞 what を使用した英文を話すことができる。 b: 倍数表現を使って、英語で「何倍〜」という表現ができる。 c:　慣用的に使われている比較表現をつかって英文を作成できる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 関係代名詞 what 関係副詞を使って英文を作成する。 b: 倍数表現等の様々な比較表現を使いこなし、英文を作成する。 c:　as や比較級 than などの比較表現を使用し、一つの英文を複数の言い方で表現できる。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	Unit13 Unit14 Unit15	聞くこと	a:　5 W1H に注意しながらニュースを聞く。 b: 数字をメモしながらアナウンスを聞いていく。 c: まとまった内容のニュースを、メモをとりながら聞き取る。	定期考査 （リスニング）

		読むこと	a: 段落同士のつながりを意識して英文を読み解いていく。 b: すべきこと、すべきでないことをしっかり把握して英文を読む。 c: 段落内の構造に注目し、英文を読解する。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a:　関係代名詞節の後置修飾を使った英文を話すことができる。 b:　wish を使って「〜できればいいのにな」と表現できる。 c:　仮定法過去を使った英文を話すことができる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 名詞の後ろに後置修飾を置いた英文を書くことができる。 b:　wish, if only, as if 等を用いた仮定法の英文を書くことができる。 c: 仮定法、仮定法過去を理解して英文を書くことができる。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度